

令和5年度菊舎顕彰会収支決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日

収入の部

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越	46,174	46,174	0	
会費	400,000	386,000	▲14,000	
事業収入	120,000	455,730	335,730	書籍販売
貯金利息	1	0	▲1	
助成金	20,000	25,000	5,000	田耕振興協議会・夏の市民フェスタ
雑収入	803,825	905,550	101,725	書籍印刷費寄付
合計	1,390,000	1,818,454	428,454	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	20,000	8,151	▲11,849	理事会部屋借料・茶菓子他
事業費	1,200,000	1,072,937	▲127,063	出版費(和歌集・年譜集成) 図録製作費・菊舎展他
研修費	20,000	0	▲20,000	
研究費	20,000	10,000	▲10,000	書籍管理費
事務通信費	100,000	34,597	▲65,403	送料・印刷・事務用品他
交際費	20,000	20,000	0	慶弔費
雑費	10,000	4,120	▲5,880	
次年度繰越	0	668,649	668,649	
合計	1,390,000	1,818,454	428,454	

令和6年度活動報告

- 4月6日 会計監査、理事会(田耕促進センター)
 - 4月9日 市報「しものせき」取材
 - 5月6日 菊舎顕彰会総会・理事会(田耕促進センター)
 - 5月18日 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 会長実践発表(篠栗町)
 - 6月7日～7月21日 企画展「菊舎 旅と友を愛した人」(美術館、歴史博物館)
 - 6月7日～6月16日 企画展「菊舎東海道五十余駅画賛今昔」(長府庭園)
 - 6月9日 会員一日研修(長府)
 - 6月30日 俳句相撲選手権 美術館場所(市立美術館)
 - 10月3日 専修寺マルシェ 会長講演「菊舎と仏教・専修寺」(田耕・専修寺)
 - 10月5日 理事会(田耕促進センター)
 - 10月20日 菊舎顕彰俳句大会(豊北体育センター)
 - 11月14日 豊北小学校俳句授業(豊北小学校)豊北小学校5・6年生参加
 - 12月8日 山戸さん・水野さん・吉村さんを偲ぶ会 合同句会(田耕・妙久寺)
 - 1月16日 新春俳句相撲大会(太翔館)豊北小学校5年生参加
 - 1月25日 理事会(田耕促進センター)
 - 2月9日 豊田文化講演会 会長講演「菊舎と西市」(西市公民館)
 - 3月2日 理事会(田耕促進センター)
- ※その他 出版準備。企画展打ち合わせと準備。俳句月例会など省略。



第25号

令和7年3月
発行
菊舎顕彰会
〒759-5512
下関市豊北町田耕
電話 083-782-1475
FAX 同上
E-mail
info@kikusha.com

お三方の理事を偲んで

令和四年七月に山戸ミエ子さん、令和五年六月に水野純次さん、令和六年七月に吉村ひとみさんと、相次いで三名の理事の方が逝去されました。謹んでお知らせ申し上げます。

いずれの方も、菊舎顕彰会の発展のために献身的に尽力され、多大な貢献をしてくださりました。

山戸さんは俳句会への入会も二緒であると共に池坊の先生でもあり、俳句大会の会場にいつも立派な花を活けて、華やぎを添えてくださいました。日頃から常に寄り添い、的確な助言をくださり、まるで姉のような存在でした。

水野さんは、地元高校の教諭を経て県会議員となられ、平成三十一年から令和四年まで顕彰会の副会長として活躍してくださいました。その間、菊舎展の目玉企画として講演「菊舎・長崎ぶらり旅」を自作自演され大きな喝采を浴びました。続編への意欲を語られていた矢先のご逝去が、惜しまれてなりません。

吉村さんは、香道や『源氏物語』に造詣が深く、国文学にも精通され、多くの出版物の編集にもお力をいただきました。また、会員研修の旅では名ガイド嬢として、大いに場を盛り上げていただいたものです。旅の下見にも二人で出かけ、「まるで、現代版・弥次喜多道中だね」と笑いながら調査研究をして回ったことが懐かしく思い出されます。

顧問 岡 昌子

思えば、三人の並外れた熱意とお力をお借りして、今日の菊舎顕彰会が存在しています。改めてご功績をしのびつつ感謝申し上げます。晩年の菊舎が願っていた「文化の薫る社会」を実現するため、これからも皆様のご協力を仰ぎながら、活動の輪を広げてまいりたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

なお、今秋には二十八年間つとめました一字庵十一世を引退し、次代へと引き渡します。長い間ありがとうございました。



企画展・聞香中の吉村さん(左)



萬福寺句碑墨直し中の山戸さん



菊舎190回忌取越法要時のお三方



講演を熱演される水野さん

菊舎二百回忌を迎えて

会長 古川裕三

令和七年は、菊舎の二百回忌という節目の年にあたり、顕彰会では、法要をはじめ様々な記念事業を計画しております。これらの企画を実現できるのも、ひとえに、皆様方の温かいご支援とご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

そこで記念事業の概要をお知らせしますので、ご覧いただき、ご参加・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。今後も、菊舎の顕彰と文化活動に力を尽くしてまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

記念出版

昨年六月に長府庭園で開催し好評を得ました展示「菊舎・東海道五十余駅画賛今昔」。その内容を、アップデートして一冊の本にまとめました。

理事の中村佑さんが、現在の東海道宿場を巡り写真を撮影し、楽しい記事を執筆。菊舎とともに東海道を旅している気分を味わえる必見の一冊です。ぜひ、お手に取ってご覧ください。

一冊 千円+二五〇円(郵送料)



二百回忌法要

田上菊舎二百回忌法要を左記のとおり勤修いたします。ご参列賜りますよう謹んでご案内申し上げます。

日時 令和七年六月十五日(日) 九時半より十二時
場所 下関市長府金屋町 徳応寺
電話 〇八三二四五一三九〇

内容
二百回忌法要勤行(讃仏偈)
末裔焼香・代表焼香 献句
挨拶(会長・来賓・末裔)
墓参
菊舎作品展示説明
七絃琴演奏 大阪七絃琴館 莊不周氏
講談「菊舎 みちのくひとり旅」
放映「菊舎東海道五十余駅画賛今昔」
募集俳句表彰式

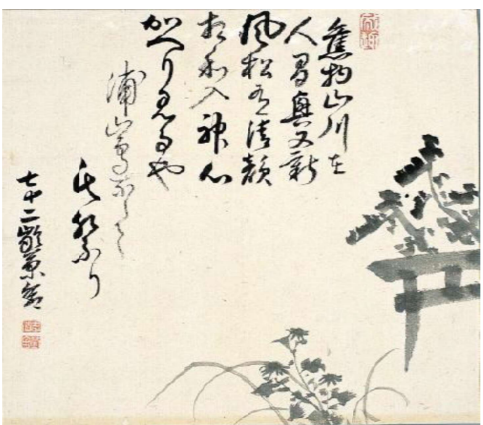
午後は、希望者のみ、本覚寺の菊舎墓参と歴史博物館の菊舎作品展示の観覧をします。昼食希望者は、五月末まで顕彰会にお知らせください。当日千七百円徴収します。

兼題 「菊舎忌」か、菊舎に因む作品。
投句料 無料。
住所、氏名、電話番号を添え、左記まで葉書でご投句ください。
応募先 〒七五九・五五二二 下関市豊北町田耕四四五四
岡 昌子宛

菊舎句碑建立

記念事業の一環として、豊北町滝部の下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」の敷地内に、菊舎句碑を建立し、下関市へ寄贈する計画を進めております。句碑に刻む句は、菊舎七十二才の時、終生の暇乞いに帰省した際に詠んだ

「かへり見るや浦島ならで氏祭り」で、
生誕地の氏祭りに帰った折の画賛です。



舊物山川在
人間興又新
風松有清韻
相和入神心

かへり見るや
浦島ならで

氏祭り

七十二齡菊舎

浦島太郎ではありませんが、長い間、諸国を旅し、今懐かしい故郷に帰ってきました。ふるさとの山も川も子どもの頃のままですが、知らない人々が多くなりました。お宮の松には今も爽やかな風が吹いて、唱和し、まことに尊いことです・・・。
と、故郷への深い愛着と懐旧の念が込められています。

句碑建立にあたり、一口千円の建設費の寄付を募集しています。皆様の賛同とご支援を、心よりお願い申し上げます。

【行事予定】

- ★ 菊舎顕彰会総会
期日 五月六日(火・休) 十三時半より
場所 下関市豊北町 田耕促進センター
- ★ 菊舎二百回忌法要
期日 六月十五日(日)
九時半～十二時・(十三時～十四時半)
場所 下関市長府金屋町 徳応寺
- ★ 一字庵第十二世立机式・句碑除幕式
期日 十月十九日(日) 十一時より
場所 下関市豊北町滝部 太翔館
- ★ 菊舎顕彰俳句大会
期日 十月十九日(日) 十三時半より
場所 下関市豊北町滝部
滝部公民館「太陽館」

【編集後記】

美術館場所や新春俳句相撲大会や長府での菊舎展など、注目の集まった一年でした。また、新聞報道などをきっかけに小学校時代の恩師から思いがけない連絡をいただくなど、嬉しい出来事もありました。今年は二百回忌関連行事が盛りだくさん。顕彰会会員一同、力を合わせて頑張ってまいります。

(裕)